

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公開番号】特開2004-316915(P2004-316915A)

【公開日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2004-044

【出願番号】特願2004-118814(P2004-118814)

【国際特許分類】

**F 1 6 B 39/282 (2006.01)**

**F 1 6 B 5/02 (2006.01)**

**F 1 6 B 25/02 (2006.01)**

**F 1 6 B 39/284 (2006.01)**

【FI】

F 1 6 B 39/282 Z

F 1 6 B 5/02 V

F 1 6 B 25/02

F 1 6 B 39/284 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月18日(2006.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

工具係合手段(5, 6)とばね要素(8)を備えたねじ要素であって、前記ばね要素は、ねじ軸(7)と同軸の関係になるようにねじ要素に1ピースで形成され、その自由端縁は工作物接触面を形成し、該工作物接触面はねじ軸に垂直であり、ねじ要素から軸方向に離れ、前記ばね要素(8)は、ねじ軸(7)と同軸で、環状の工作物接触部(9)を有するリングであり、頭部(4)またはナットであるねじ要素の周囲に配置され、外周面を越えて半径方向に突出し、外周面の外側に配置されてねじ軸(7)と同軸である工作物接触部(9)を形成しているねじ要素において、

前記ばね要素(8)を形成するリングは、その周囲にわたって均一に分布する複数の開口部(20)を有することを特徴とするねじ要素。

【請求項2】

前記ばね要素(8)は、比較的平坦なばね特性を有することを特徴とする請求項1に記載のねじ要素。

【請求項3】

前記ばね要素(8)は、前記ねじ要素(1)より低い硬度を有することを特徴とする請求項2に記載のねじ要素。

【請求項4】

前記ばね要素(8)は、工作物接触部(9)の領域に突起(13, 14, 14a)を有することを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載のねじ要素。

【請求項5】

前記請求項1から4のいずれかに記載のねじ要素の形態の頭部(4)を有するねじ(1)において、ねじ形成またはセルフタッピングの性質を有することを特徴とするねじ。

【請求項6】

前記請求項 1 から 5 のいずれかに記載のねじ要素を備え、少なくとも一方が金属板またはプラスチック要素である 2 つの工作物のねじ接合において、

ばね要素 ( 8 ) が隣接する工作物に対して所定のプリストレスを与えることを特徴とするねじ接合。